

技術の日立

技術にも、体温があるんだね。

どこへ行ったら会えるという存在でもないのに
毎日、たくさんの便利や快適を送りとどけている。
いないように見えて、ちゃんとそこにいる。
それが、私たちの技術の正体なんです。
みんなの幸せのためにがんばっています、よろしく。
これからも、ずっとずっと人と技術の
あたたかい関係を考えていきます。日立です。

人と技術の理想をめざす **Interface**

株式会社 日立製作所

第11回世界学生選手権大会

ソ連が優勝 ～日本は11位～

世界学生選手権に参加して

監督・宍倉保雄

1．準備期間の現状とその問題点

オランダでの世界学生選手権のための準備として、約1年半にわたり国内合宿を6回、中国遠征（上海市）を1回、延べ40日間の強化練習を行ない、6試合の国際親善試合を消化した。その試合の内2試合が欧州チームとの対戦であった。これだけの限られた日数の中で1つのチームにまとめ上げることは非常に難しいことではあったが、現状を考えた時、致し方ないようにも思える。しかしもう少し時間が欲しいというのは監督としての実感であり、選手自身が各々のホームチームの意識から本当の意味で、全日本学生選抜が自分のチームなんだと考えるまでの日数としては、少しもの足りないものを感じた。

第2点はAナショナルとJr．ナショナルとのからみで今回ほど日本協会の強化部と学連の話し合いが多く持たれたこともなかったように思う。選手1人を育てるということは、むやみに経験を積ませるだけでは済まない。ある年齢時は、Jr．ナショナルだけで活動するとか、この1年間は学生選抜だけにしぼるとか、この時期はAナショナルの活動に専念するとかがなければ、力のある若い選手はホームチーム以外に3つのナショナルチームに所属し活動する可能性もあり、選手を疲労させるだけで効果的な育成とは考えにくい。これらの問題からもわかるように、ナショナルの候補選手を辞退する学生が現実に増してきている。無論、全日本学生選抜も同様である。学生自身の代表選手に対するか考え方が未熟なのか、魅力がないのか、また、各チームの現場をあずかるスタッフにも問題があるのか、私も含めてこの現状をきびしく受けとめ、打開して行かなければならないであろう。

2．本大会について

12月2日よりドイツ（フランクフルト）で1週間のトレーニングを行ない、西独学生選抜、第2ブンデスのグリースハイム、4部リーグのボーデンハイツと3試合のテストマッチを行ない、多少なりとも体格の大きいチームとの対戦をこなすことが出来たが、これ以上の試合数を持つことは、本戦前では非常に危険だと思う。

12月7日にオランダ（リーワーデン）に移動し、当日ユーゴ、モロッコ、ブラジルの3ヶ国が棄権したと知らされ、複雑な気持ちで大会に入った。当然のように組み合わせの変更があり、下位リーグは、前代未聞の5チーム総当たりのリーグ戦となり、大会日程の関係上1ヶ国が抽選で1日2試合しなければならないことに決定した。最終的には、それが日本チームになった訳だが、大変過酷な状況下での試合を余儀なくされ、体力的問題や精神的コンディションづくりの難しさなど、初めての経験で少し戸惑ったことも事実である。

今回の日本チームの戦術的目標は、ディフェンスでの被害を最小限に止め、速攻を中心とした機動力に富んだゲームをつくることとし、従来より体格の小さい選手も積極的に選考した訳であるが、予想以上に小兵軍団（下地・河合・田中）が期待に応えてくれ、6試合の全得点中の40％に当たる56得点をたたき出してくれた。しかしどの相手でも1試合中、使えるということは難しく、選手起用のタイミングを間違わないようにしなければならないと思う。

一方ディフェンスにおいては、190cm台のトップディフェンスである長嶺（中部大）がよく動き、特に相手チームのフローター同志の横パスを自由にさせず、ゆるいパスをさせることに成功し、その結果45度ディフェンスがポストを守りながら積極的に前に詰めることが出来、戦術的にも非常に有効な方法であった。また、GK比嘉の活躍は特筆すべき内容であった。

3位になったチェコ以外の対戦では、かなり戦えたと思うが、やはり初戦のハンガリーを14－16で落としたことが結果的に上位に行けなかった一番の原因で、またしてもこの壁を破れなかったことは残念で、試合後ハンガリーの選手達が抱き合って喜んでいた姿を見て悔しさがこみ上げてきたが、日本の情報がかなり流れていて（6月にハンガリーAナショナルと対戦）それなりの注意を払っていたのだと思う。そのハンガリーがチエコに1点差のゲームをするのだから、彼らは戦い慣れているとしか言いようがない。

下位リーグで印象的だったのは、ダブルヘッダーの日でアメリカ戦とノルウェー戦であった。アメリカはGKを除き全員がナショナルメンバーで、5月のジャパンカッ

団長	中沢　重夫	全日本学生連盟理事長
監督	宍倉　保雄	全日本学生連盟理事
コーチ	藤村　孝司	全日本学生連盟専門委員
総務	綿貫　敏雄	全日本学生連盟理事
	松　喜美夫	全日本学生連盟理事
	本田　陽	全日本学生連盟専門委員

選手	氏　名	所属・学年	年齢	身長	体重
GK 1	比嘉　薫	日体大ＯＢ	22	180.0	82.0
12	荒木　進	早稲田大 2	19	185.0	79.0
FP 2	源内　利幸	国士館大 4	22	181.5	73.0
3	林　昌英	国士館大 4	22	181.0	67.0
4	孤原　克典	早稲田大 4	22	180.0	69.0
5	河合　哲	大阪体大 4	22	171.0	67.0
6	与儀　竜也	中部大 4	22	180.0	82.0
7	長嶺　毅志	中部大 4	22	190.0	80.0
8	藤井　孝志	筑波大 3	21	189.0	85.0
9	積　芳広	日体大 3	20	182.0	75.0
10	下地　保	日体大 3	21	166.7	63.0
11	田中　潤	大阪体大 3	21	178.7	70.0
13	高田　浩志	東和大 3	20	180.7	76.0
14	中山　裕人	中京大 3	21	186.7	74.8

滞同国際審判員	川島　克之	東京教育大ＯＢ	46
	森　敏郎	東京教育大ＯＢ	42

プよりかなり実力を上げていたように思う。ラスト10分までは互角の戦いが出来たが、終盤ディフェンスラインが少し下がったためロングをたたき込まれて21－27で敗退、しかし点差ほどの差はないように思った。その日の2試合目ノルウェー戦では、前半15－12と3点のリードで折り返し、ラスト1分を切ってからも1点のリードを死守していたが、ラスト20秒この攻撃を守れば勝てるという所で相手のミドルシュートがGK比嘉の右手をかすめてゴールイン、引き分けであった。選手権大会での1勝の難しさを改めて思い知らされたような気がする。ベルギー・台湾に勝利したものの、通算2勝1分3敗で11位に終わった。

3．最後に

日本チームは大きく分けて2つの意味のある戦いをしなければならない。その1つは悲願であるベスト8以内の確保であり、過去何度もこの厚い壁に跳ね返されている。何としても予選リーグで2位以内にならねばならない。したがって、予選リーグの戦いがすべてであるということを強く選手に認識させることが最も大切なことで

大会成績

▼予選リーグA組

ソ連 32－18 トルコ
ノルウェー 26－22 台湾
ソ連 41－20 台湾
トルコ 24－23 ノルウェー
ソ連 30－26 ノルウェー
トルコ 29－18 台湾
〔順位〕①ソ連②トルコ③ノルウェー④台湾

▼予選リーグB組

ハンガリー 16（9－6／7－8）14 日本
チェコ 30（12－7／18－12）19 日本
チェコ 19－18 ハンガリー
〔順位〕①チェコ②ハンガリー③日本

▼予選リーグC組

ギリシャ 21－19 アメリカ
アルジェリア 22－15 ギリシャ
アルジェリア 20－20 アメリカ
〔順位〕①アルジェリア②ギリシャ③アメリカ

▼予選リーグD組

ルーマニア 34－19 ベルギー
ルーマニア 32－16 オランダ
オランダ 22－14 ベルギー
〔順位〕①ルーマニア②オランダ③ベルギー

▼準決勝リーグA組

チェコ 28－24 トルコ
ソ連 31－16 ハンガリー
ハンガリー 22－22 トルコ
ソ連 30－17 チェコ
※ソ連－トルコ、チェコ－ハンガリーは予選リーグを適用。
〔順位〕①ソ連②チェコ③ハンガリー④トルコ

▼準決勝リーグB組

オランダ 20－19 アルジェリア
ルーマニア 24－17 ギリシャ
ギリシャ 18－16 オランダ
ルーマニア 17－14 アルジェリア
※アルジェリア－ギリシャ、ルーマニア－オランダは予選リーグを適用。
〔順位〕①ルーマニア②アルジェリア③ギリシャ④オランダ

▼順位決勝リーグ

ノルウェー 27－21 アメリカ
日本 35（21－9／14－8）17 ベルギー
ノルウェー 32－22 ベルギー
アメリカ 27（14－10／13－11）21 日本
アメリカ 31－18 台湾
ノルウェー 24（12－9／12－15）24 日本
台湾 18－17 ベルギー
日本 24（15－12／9－8）20 台湾
アメリカ 36－37 ベルギー
※ノルウェー－台湾は予選リーグを適用。

▼7・8位決定戦

トルコ 22（15－9／7－9）18 オランダ

▼5・6位決定戦

ハンガリー 23（10－12／13－9）21 ギリシャ

▼3・4位決定戦

チェコ 20（12－10／8－9）19 アルジェリア

▼決勝

ソ連 20（12－6／8－10）16 ルーマニア

〔最終順位〕

①ソ連②ルーマニア③チェコスロバキア④アルジェリア⑤ハンガリー⑥ギリシャ⑦トルコ⑧オランダ⑨ノルウェー⑩アメリカ⑪日本⑫台湾⑬ベルギー

あった。
　2つ目は、もし下位リーグに回ってでも勝負を捨えずに、1つでも順位を上げることに残った力を振り絞って最大の努力をすること。口で言うのはたやすいがこれを実行することは難しい。応々にして上位リーグに行けなかった場合、落胆し集中力の無いゲームをしがちでである。それがスタッフにとって一番怖い。しかし選手達はこの難関をクリアし、責任は果たしてくれたと思う。順位は11位ではあったが、スポーツマンとしての彼らは他国の選手達に一歩も引けを取らなかったことを選手と共に喜びたいと思う。
　最後に今回の大会に関して関係各位の皆様方のご協力に対して心からお礼を申し上げます。

世界を見て感じた10日間

コーチ・藤村孝司

　第11回世界学生選手権大会は、12月10日～16日の6日間の日程でオランダのグロニンゲンをメイン会場に4都市で予選リーグが開催された。
私たちは、1日に日本を出発し、16時間という長い飛行機の旅をし、ドイツのフランクフルトで1週間のトレーニング調整を行ない3試合のトレーニングマッチをした。目的は、時差調整と対外人対策である。ドイツに着いた翌日（3日）西ドイツ学生選抜と対戦した、多少の疲れと時差で選手の動きの鈍さが見られたが、気力は十分に感じられた。開始より単調な攻撃で相手先攻の展開がつづくが日本もミドル、サイド、速攻と果敢に攻撃するも、ここ一本のところでミスがでる。国内ではパスができていた場面でも、大きなそれも手が長い外人には、カットされパスの感覚や、シュートの間がつかめずリズムをくずし重いゲームの流れとなり、結果19対24と敗戦だった。大きさと、高さ、重さ、この3つの難題をクリアーできなければ世界とは互角に戦えないと感じた。このドイツのトレーニングゲームで多少でも選手が身体で感じてくれればよいと思った。
　翌日（4日）グリースハイム（二部リーグ8位）とのゲームでは、昨日の試合で多少の慣れもあり、前半は日本のペースで先行する。DFも相手のキッカケをよく阻止しミスを誘い速攻につなげ得点チャンスをつくり80パーセントの出来あがりだった。OFも自分たちの持ち味をだし試合の流れを考えコンビプレーで得点したりとバランスのとれた展開だと思ったが、後半開始早々、日本のミスもあったが怒涛の反撃にあい連続得点をされ、これが本場のプレーと言わんばかりに突き放され大敗した。しかし攻、守にわたりよい場面が多く見られるようになってきた。
　ドイツ最後のテストマッチは、6日ボーデンハイム（4部）と行なったが、対戦相手は日本と体格も変わらず技術はやや劣るチームだったことで、前半より自分達の持ち味をだし23対19と勝つことが出来た。この1週間で体験したことを本大会でだしてくれることと、ベストの状態で望めることを期待し、まだ視ぬ相手への不安を胸に（7日）オランダへと出発した。
　予選で対戦するハンガリー、チェコ、モロッコ、ここで2勝すれば準決勝リーグにと思いながらオランダに入るが、モロッコ、ユーゴスラビア、ブラジル、の3ヶ国が棄権したと知り、日本では考えられないことが世界では起こることに戸惑いを感じた。
　いよいよ、本大会（10日）19時よりハンガリー戦、予想していた体格の大きさよりは小さく、ほぼ日本チームと変わらず「戦える」と思った。立ち上がりミドルシュートが決まりリズムをつかみかけるとミス、DFでは大きな崩れはなく速攻にでるが焦りか、硬さか、パスミスが多くチャンスを自分たちで潰してしまい、またノーマークシュートも相手GKに再三阻まれなかなか得点できずロースコアで（6―9）折り返す。後半も一進一退の攻防するが、ここ一番の勝負どころでの確実なプレーに一時溝をあけられるが、日本も粘りようやく攻守かみあい追い上げるが、時間との戦いとなりここ一本のシュートがチャンスまでいくが得点と成らず結果14―16と初戦をかざれず重い荷を背負ったように感じた。
　今日の試合では体格の差ではなく対人プレーの早さと確実なサイドプレー、そしてもっとも感じたのは勝負どころの一本これは、はるかにハンガリーが上に感じられた。
　第2戦はチェコ。まだ望みを残して戦った前半は互角以上にいいゲームをするが、徐々に離され（7―12）で折り返す。後半は、前半の攻防の疲れかDFにしても押し込まれる場面が多くなり、連続得点を許し反撃も虚しく19―30で敗戦をした。これが世界のベスト4に入るチームだと思い知らされた。日本も攻守にわたりいいところがでて来たとは思うが力の差を感じた一戦であった。
　これで、明日から下位リーグの戦いが始まる。
　3ヶ国欠場のため下位のリーグは5チーム総当りとなり前例がなく、また1ヶ国が抽選で1日に2試合をしなければいけないことに決まった。なんとそれが日本チームが選ばれたのだ。
　今日よりベルギー、アメリカ、ノルウェー、台湾と戦うことが決まった。
　ベルギー戦は（13日）日本と体格的にも変わりなく、技術的には私たちのチームが上のように感じた。前半より攻守に先攻し反撃をゆるすことなくリードをつづけ35対17と快勝することが出来た。しかし私は、この試合でもまだ勝つことのない日本チームに不安をいだきながらベンチに座っていた。世界で勝つことの厳しさを肌身で知ることができた。
　今日は（15日）10時よりアメリカ戦、選手も徐々に疲れがたまり心身ともにきつくなってきている。練習にも生彩がなく集中力を欠き、これで試合が出来るのだろうかと心配になる。大きな相手に身体と身体をぶつけ、気を許すと簡単に得点され大量点につながる攻撃では、攻めても高い壁にぶつかり、空回りからミスと自分たちのプレーを出し切れず力尽き21対27と敗戦をした。なんとか自分たちの力を出し切り戦わすことで頭がいっぱいである。午後のノルウェー戦までには気持ちを切り替えさせようと会話をする。
　前半より選手はリラックスしのびのびと攻守にわたりプレーし15対12とリードし折り返す。控え室では選手の士気もたかまり、勝つぞ、と皆がこの試合に一丸と成っている気持ちが伝わってくる。私もこの試合は勝てると思った。後半もリードを続け相手の反撃にも

耐え、お互いに助け合いリードをするが、残り時間は1分を切る。1点のリードこの攻撃をしのげば勝利、しかしまたも世界の壁が日本の前に大きくたちはだかった。ノルウェーのエースのミドルシュートがGK比嘉の手をかすめゴールに突きささった。24対24の引き分けだった。負けたわけではないのに負け以上の悔しさが全身をおおう。私が受けた衝撃より選手が受けた衝撃は、かずしれないものであろうと思う。

今大会の最終日、同じアジアの台湾とのゲームである。昨日の疲れか、勝とうとする力みか前半よりミスが多く得点チャンスに得点できず（9—8）と相手のミスにも救けられ折り返す。後半もリードはするが連続得点できず突放すこともなく終盤にもつれこみ残り10分まで、予断を許さない試合展開となり結果（24—20）で最終戦を飾ることが出来た。

今回の大会をとうして、世界のハンドボールを実感できたことと、厳しさ、勝負に対する執着心を眼のあたりにしたことを、今後の指導にまた学生連盟のためにお役に立てるよう努力をしていきたいと思います。

このような機会を与えて戴いた関係各位の皆様と大会をとうしてご指導を戴いた皆様、そして合宿から本大会まで、ご迷惑をおかけした団長はじめ監督、総務の各先生がたには大変お世話になりまして、ありがとうございました。

世界学生選手権大会を終えて　キャプテン・比嘉薫

世界学生選手権大会を目前にして、ドイツでトレーニングマッチ3試合を消化したわけですが、その中で我々学生チームが、身体の大きな外人選手を相手に、個々の力、チーム全体の力をどのくらい出しながらプレーして行けるか、というような感触を少しでも得て行くものであったが、私自身、何回か外人選手とは対戦して来た中でも、今回のトレーニングマッチでのゲームは、頑張ろうという気持ちだけ前に出過ぎていて、基本的なことをわすれながら取り組みがちであったと思われます。特に、外人選手のパワーを目前にしてシュートが怖いという気持ちが、全体的に現われていた結果が、随所に見られたということで、本大会まで不安材料が残りつつ、これがチームのリーダーとしての役割なのかと反省することが大分有り過ぎて、スタッフの先生方にもご心配をおかけしていたと思います。それでも私をチームのリーダーとして見てくれる、チームメイト、スタッフの気持ちに少しでも応えていくことを考えて本大会入りしました。

大会での第1戦目が、ハンガリーチームということもあり、前回ハンガリーナショナルチームとの親善ゲームを終えてみての感触で敗れはしましたが、学生チームとの対戦はものにできるかもしれないという、チーム全体の意気込みが感じられていました。ゲーム前までは、チーム全体の仕上がりに多少の不安を残していましたが、ゲームが開始されると、防御面で選手全体のフォローディフェンスに良いつながりが出て、ローペースな展開でゲームが流れていました。私自身の心境としても、チーム全体の気持ちは一つになっていたと思われます。どうしてもこのゲームを取るという気持ちで戦っていたと思いますが、精神的な面で追い込みを感じて取り組んだ結果、悪影響になって出てしまい、勝てそうで勝てない、国と国との戦いを痛感しました。

しかし、気落ちすることなく次のチェコ、オランダのクラブチームと対戦したのですが、結果は、Bリーグ3位という形で下位リーグとなりました。終わったことをいつまでも考えず前向きに考えながら取り組むことがチーム全体の立場であると把握し、次からのゲームに取り組んで行きました。

ベルギーチームに大差で勝利して1勝をあげ、次のアメリカ戦に気持ち良く臨んだのですが、その日、ダブルのゲームの一つ目の午前中のゲームということで、前日にイメージトレーニングをしたのですが、個々のコンティションの持って行き方に悪い影響が残り、ゲームを落としてしまいました。私自身、前日にスタッフとアメリカ対台湾のゲームを観戦した後に、我々チームが予選リーグでのハンガリー戦にみせたディフェンスが出来れば勝機はあると考えていたのですが、私自身、チームに少しも貢献できずに終わってしまいました。このゲームを落としたということで、下位リーグ上位に食い込むことが難しくなって来ましたが、後にノルウェー戦が残っていたため、チーム全員の気持ちだけは途切れないように運んでいくことも考え、ゲームに臨みました。

ノルウェー戦は、我々選手全員全くリラックスして臨んでいました。ゲームははじめは4対0とリードされ、大差で敗れてしまうのではないかと思われましたが、選手全体が本当の意味でプレッシャーを感じずに頑張っていた結果、終盤にチーム全体の粘りで逆に一点リードしたのですが、終わってみれば同点という結果で、悔しさありましたが、チーム全体が今大会最高の粘りを見せて終えることができました。そのリラックスした気持ちで、最終の台湾戦に臨んだことが良い影響が出て最終戦を勝って終えることができました。

大会を終えてみて、結果は11位という形になりましたが、私は、ここまで、このチームで合宿、遠征をして来たことに満足しています。それは、私自身、練習不足な面が多かったのですが、スタッフの先生方、チームメイトが理解してくれた上で、チームの一員として認めてくれたことに深く感謝致します。

また、キャプテンとしての役割や、今大会で2回目の出場ということもあり、全体的に信頼感が集まっていたと思うのですが、それなりの役割を果たせたのか考えるものがありますが、学生チームの一員として満足していますし、今大会大きなケガも無く終われたことは良かったと思います。しかし、スタッフの先生方の期待に応えきれなかったことは反省したいですが、私自身、この学生選抜チームメイト、スタッフの先生方と共にやって来れたことを良い思いとして、これから指導者として、選手として、はげみにしたいと思います。また、今大会で得たことを役に立てたいし、一生懸命取り組めば出来ないことはないと考えたいと思います。

最後に、全日本学生チームの事業にたずさわった方々、スタッフの諸先生方に深く感謝し御礼を申し上げます。どうも有難うございました。また、選手のみなさん本当にご苦労様でした。

第15回日本リーグ二部前期

三景(男子)・日立栃木(女子) 全勝で折り返す

第15回日本リーグ二部は、男子8チーム、女子6チームがしのぎを削ったが、前期は男子は三景、女子は日立栃木がともに全勝で折り返した。

男子の三景は、ライバルの本田技研熊本と第5週に全勝同士で対決、三景が前半で優位に立ち、終盤激しく追い上げる本田をかわして全勝をキープ、一部復帰への足がかりをつかんだ。

一方女子は、これも日立栃木が好調に勝ち進み、前期最終戦でライバル・ジャスコと対決、激しいシーソーゲームも終始先手をとって快勝、前期の首位を守った。

▼男子前期順位
①三景②本田技研熊本③日本電装④竹芝精巧⑤豊田自動織機⑥トヨタ車体⑦大阪ガス⑧日鉄建材工業

▼女子前期順位
①日立栃木②ブラザー工業③ジャスコ④ソニー国分⑤ムネカタ⑥JUKI

本田技研熊本 30（15－13、15－7）**20 竹芝精巧**

得	〔本田〕		〔竹芝〕	得
0	宮本	GK	桜川	0
0	中尾			
0	矢野	FP	中間	7
3	三代		桐木	4
7	松村		馬場	1
2	田中		三本	3
2	山口		今村	1
0	田中		坂元	0
2	堀内		野崎	3
6	寺島		吉川	1
5	大中		三橋	0
3	児玉		百合野	0
30	(3)	PT	(4)	20

（審・秋山、平賀）

男子

豊田自動織機 23（8－11、15－7）**18 トヨタ車体**

得	〔織機〕		〔車体〕	得
0	柴田	GK	宮田	0
0	中村		工藤	0
1	蟹江	FP	君島	5
0	奥畑		赤星	1
7	大澤		崎野	3
2	倉田		河合	4
3	小川		寺島	0
0	鎌田		平野	0
1	杉浦		寺沢	0
7	大野		長野	5
2	山田		水田	0
0	伊藤		大原	0
23	(2)	PT	(1)	18

（審・細井、斉田）

日鉄建材 18（8－7、10－11）**18 大阪ガス**

得	〔日鉄〕		〔ガス〕	得
0	古里	GK	福田	0
0	川上		森	0
2	杉本	FP	奥野	1
2	久保田		加地	7
1	山口		合田	0
1	谷内		岩本	0
0	鹿嶌		中村	1
6	上山		長田	6
0	外山		田坂	2
2	阪中		濱田	0
1	池辺		大川	1
3	板井		Zeke	0
18	(1)	PT	(4)	18

（審・位田、武田）

三景 23（12－12、11－10）**22 日本電装**

得	〔三景〕		〔電装〕	得
0	中村	GK	高橋	0
0	石井		福山	0
8	斉藤	FP	杉村	1
4	高橋		橋本	2
8	金井		久本	0
1	清田		岸田	2
0	小金山		井上	2
0	木原		笠	7
0	高橋		岡崎	0
0	吉野		樋口	5
1	近藤		近藤	3
1	福士		梅井	0
23	(0)	PT	(2)	22

（審・星川、佐東）

日本電装 32（16－13、16－10）**23 竹芝精巧**

得	〔電装〕		〔竹芝〕	得
0	高橋	GK	桜川	0
0	福山			
4	橋本	FP	中間	4
1	久本		桐木	5
2	岸田		馬場	4
1	井上		三本	2
8	笠		今村	4
0	岡崎		野崎	1
4	樋口		吉川	3
2	近藤		三橋	0
9	梅井		土肥	0
1	柴田		森口	0
32	(0)	PT	(0)	23

（審・清水、太田）

本田技研熊本 35（17－7、18－9）**16 豊田自動織機**

得	〔本田〕		〔織機〕	得
0	宮本	GK	柴田	0
0	中尾		中村	0
0	矢野	FP	蟹江	0
9	三代		奥畑	1
5	田中		大澤	4
8	山口		倉田	2
0	田中		小川	0
5	堀内		鎌田	0
3	寺島		杉浦	1
4	大中		大野	5
1	児玉		山田	3
			伊藤	0
35	(1)	PT	(2)	16

（審・中村、高野）

三景 32（17－13、15－9）**22 大阪ガス**

得	〔三景〕		〔ガス〕	得
0	中村	GK	福田	0
0	石井		森	0
6	斉藤	FP	奥野	1
5	高橋		加地	6
8	金井		合田	3
4	清田		岩本	0
1	小金山		中村	3
3	木原		長田	2
0	高橋		田坂	3
1	吉野		濱田	2
2	近藤		大川	2
2	福士		Zeke	0
32	(1)	PT	(2)	22

（審・田中、福田）

男子

トヨタ車体 26 〔15 11 ／ 13 10〕 23 日鉄建材

〔日鉄〕	得		得	〔車体〕
古里	0	GK	0	宮田
川上	0		0	工藤
杉本	2	FP	11	君島
山口	7		3	赤星
谷内	0		0	崎野
鹿嶌	0	審・幸塚・矢田	4	河合
上山	9		0	寺島
外山	0		0	平野
阪中	2		0	寺沢
池辺	0		6	長野
板井	3		2	水田
			0	大原
	23	(4) PT (3)	26	

日本電装 25 〔12 13 ／ 16 8〕 24 大阪ガス

〔ガス〕	得		得	〔電装〕
福田	0	GK	0	高橋
森	0		0	福山
奥野	0	FP	1	杉村
加地	6		1	橋本
合田	1		0	岸田
岩本	0	審・渡辺・長谷	5	井上
中村	2		9	笠
長田	5		1	岡崎
田坂	3		0	樋口
濱田	2		1	近藤
大川	5		7	梅井
Zeke	0		0	難波
	24	(1) PT (2)	25	

竹芝精巧 32 〔18 14 ／ 11 5〕 16 日鉄建材

〔日鉄〕	得		得	〔竹芝〕
古里	0	GK	0	桜川
杉本	1	FP	8	中間
久保田	0		8	桐木
山口	8		1	馬場
谷内	0		4	三本
鹿嶌	2	審・塩屋・菊池	1	今村
上山	1		5	野崎
外山	1		4	吉川
阪中	0		0	三橋
池辺	0		1	長野
板井	3		0	百合野
	16	(0) PT (3)	32	

三景 30 〔16 14 ／ 8 7〕 15 豊田自動織機

〔織機〕	得		得	〔三景〕
柴田	0	GK	0	石井
中村	0			
蟹江	2	FP	6	斉藤
奥畑	1		7	高橋
大澤	1		8	金井
諫山	0	審・川合・工藤	0	清田
倉田	5		1	小金山
小川	0		1	木原
鎌田	1		2	高橋
杉浦	1		2	吉野
大野	1		2	近藤
山田	3		1	福士
	15	(2) PT (4)	30	

トヨタ車体 21 〔10 11 ／ 9 11〕 20 大阪ガス

〔ガス〕	得		得	〔車体〕
福田	0	GK	0	宮田
森	0		0	工藤
奥野	2	FP	7	君島
加地	5		0	赤星
合田	2		0	崎野
中村	2	審・古富・赤池	6	河合
長田	6		0	寺島
田坂	1		0	平野
竹志	1		0	寺沢
濱田	1		8	長野
大川	0		0	水田
Zeke	0		0	大原
	20	(1) PT (0)	21	

本田技研熊本 28 〔18 10 ／ 8 13〕 21 日本電装

〔電装〕	得		得	〔本田〕
高橋	0	GK	0	宮本
福山	0		0	中尾
杉村	5	FP	2	矢野
橋本	2		5	三代
久本	0		3	松村
岸田	1	審・久保・池田	5	田中
井上	3		5	山口
笠	3		5	堀内
樋口	2		2	寺島
近藤	5		0	大中
梅井	0		1	児玉
難波	0			
	21	(2) PT (4)	28	

日本電装 31 〔15 16 ／ 11 9〕 20 豊田自動織機

〔織機〕	得		得	〔電装〕
柴田	0	GK	0	高橋
中村	0		0	福山
蟹江	1	FP	7	杉村
奥畑	2		1	橋本
大澤	4		1	久本
倉田	3	審・金森・八日市屋	1	岸田
小川	1		1	井上
鎌田	1		8	笠
杉浦	0		2	近藤
大野	7		1	梅井
山田	1		5	難波
伊藤	0		4	柴田
	20	(0) PT (5)	31	

竹芝精巧 28 〔14 14 ／ 14 9〕 23 大阪ガス

〔ガス〕	得		得	〔竹芝〕
福田	0	GK	0	小幡
森	0		0	桜川
奥野	2	FP	10	中間
加地	7		4	桐木
竹志	0		3	馬場
合田	2	審・奥田・丸谷	2	三本
中村	2		5	今村
長田	2		0	坂元
田坂	2		1	野崎
藤田	0		3	吉川
濱田	4		0	土肥
大川	2		0	森口
	23	(2) PT (3)	28	

三景 35 〔15 20 ／ 13 11〕 24 日鉄建材

〔日鉄〕	得		得	〔三景〕
古里	0	GK	0	石井
			0	長橋
杉本	3	FP	5	斉藤
久保田	2		11	高橋
山口	6		8	金井
谷内	0	審・飯名・仲田	3	清田
鹿嶌	7		1	小金山
上山	2		1	木原
外山	1		0	高橋
阪中	0		0	吉野
池辺	0		2	近藤
板井	3		4	福士
	24	(3) PT (4)	35	

竹芝精巧 26 〔16 10 ／ 11 11〕 22 豊田自動織機

〔織機〕	得		得	〔竹芝〕
柴田	0	GK		
中村	0		0	桜川
蟹江	2	FP	9	中間
奥畑	1		3	桐木
大澤	3		0	馬場
諫山	0	審・池田・久保	2	三本
倉田	2		6	今村
小川	0		4	野崎
鎌田	5		2	吉川
杉浦	1		0	三橋
大野	8		0	長野
伊藤	0		0	百合野
	22	(2) PT (2)	26	

本田技研熊本 25 〔14 11 ／ 9 11〕 20 トヨタ車体

〔車体〕	得		得	〔本田〕
宮田	0	GK	0	宮本
工藤	0		0	中尾
君島	9	FP	0	矢野
赤星	0		6	三代
崎野	1		7	松村
河合	4	審・大和・中園	3	田中
寺島	0		2	山口
平野	0		2	堀内
寺沢	0		3	寺島
長野	2		1	大中
水田	4		1	児玉
大原	0			
	20	(2) PT (1)	25	

豊田自動織機 28 〔13 15 ／ 10 10〕 20 大阪ガス

〔ガス〕	得		得	〔織機〕
福田	0	GK	0	柴田
森	0		0	中村
奥野	2	FP	6	蟹江
加地	10		3	奥畑
竹志	0		6	大澤
合田	2	審・杉本・工藤	0	諫山
中村	2		2	倉田
長田	1		1	小川
田坂	2		2	鎌田
濱田	1		5	杉浦
大川	0		3	大野
Zeke	0		0	伊藤
	20	(2) PT (5)	28	

男子

日本電装 35（19 16 / 13 9）22 日鉄建材

	〔日鉄〕	得	〔電装〕	得
GK	古里	0	高橋	0
	川上	0	福山	0
FP	杉本	1	杉村	7
	久保田	0	橋本	3
	山口	4	久本	3
	谷内	0	岸田	3
	鹿嶌	4	井上	4
	上山	7	笠	7
	外山	0	樋口	1
	阪中	0	近藤	2
	池辺	0	梅井	0
	板井	6	難波	5
PT	(5)	22	35	(5)

（審・神谷・藪内）

竹芝精巧 26（13 13 / 9 10）19 トヨタ車体

	〔車体〕	得	〔竹芝〕	得
GK	宮田	0		
	工藤	0	桜川	0
FP	君島	8	中間	7
	赤星	1	桐木	3
	崎野	4	馬場	2
	河合	4	三本	3
	寺島	0	今村	5
	平野	0	野崎	3
	寺沢	0	吉川	2
	長野	1	三橋	0
	水田	1	長野	1
	大原	0	森口	0
PT	(1)	19	26	(3)

（審・清水・太田）

三景 26（14 12 / 15 8）23 本田技研熊本

	〔本田〕	得	〔三景〕	得
GK	宮本	0	中村	0
	中尾	0	石井	0
FP	矢野	0	斉藤	4
	三代	5	高橋	4
	松村	2	金井	10
	田中	2	清田	2
	山口	4	小金山	0
	田中	0	木原	0
	堀内	6	高橋	1
	寺島	3	吉野	0
	大中	0	近藤	3
	児玉	1	福士	2
PT	(4)	23	26	(2)

（審・和田・浅野）

本田技研熊本 26（13 13 / 10 9）19 大阪ガス

	〔ガス〕	得	〔本田〕	得
GK	福田	0	宮本	0
	森	0	中尾	0
FP	奥野	2	矢野	0
	加地	4	三代	5
	合田	0	松村	4
	岩本	0	田中	3
	中村	0	山口	6
	長田	4	田中	0
	田坂	3	堀内	3
	濱田	1	寺島	3
	大川	5	大中	1
	Zeke	0	児玉	1
PT	(1)	19	26	(3)

（審・足立・坪井）

三景 28（14 14 / 12 13）25 竹芝精巧

	〔竹芝〕	得	〔三景〕	得
GK			中村	0
	桜川	0	石井	0
FP	中間	6	斉藤	5
	桐木	5	高橋	8
	三本	5	金井	6
	今村	5	清田	2
	野崎	4	小金山	0
	吉川	0	木原	0
	三橋	0	高橋	0
	土肥	0	吉野	0
	長野	0	近藤	3
	百合野	0	福士	4
PT	(2)	25	28	(4)

（審・浅野・和田）

日本電装 25（14 11 / 8 10）18 トヨタ車体

	〔車体〕	得	〔電装〕	得
GK	宮田	0	高橋	0
	工藤	0	福山	0
FP	君島	6	杉村	2
	赤星	1	橋本	0
	崎野	0	久本	4
	河合	5	岸田	1
	寺島	1	井上	6
	平野	0	笠	1
	寺沢	0	樋口	2
	長野	3	近藤	2
	水田	2	梅井	3
	大原	0	難波	4
PT	(2)	18	25	(4)

（審・坂本・宇尾野）

豊田自動織機 28（13 15 / 12 10）22 日鉄建材

	〔日鉄〕	得	〔織機〕	得
GK	古里	0	柴田	0
	川上	0	中村	0
FP	杉本	3	蟹江	3
	久保田	2	奥畑	0
	山口	4	大澤	4
	谷内	0	諫山	1
	鹿嶌	5	倉田	2
	上山	6	小川	0
	外山	0	鎌田	1
	阪中	3	杉浦	5
	池辺	0	大野	4
			山田	5
PT	(1)	22	28	(4)

（審・杉本・工藤）

本田技研熊本 28（14 14 / 6 14）20 日鉄建材

	〔日鉄〕	得	〔本田〕	得
GK	古里	0	宮本	0
	川上	0	中尾	0
FP	杉本	4	矢野	0
	山口	3	三代	6
	谷内	2	松村	4
	鹿嶌	1	田中	0
	上山	3	山口	2
	外山	0	堀内	5
	阪中	0	寺島	6
	池辺	0	大中	4
	板井	7	児玉	1
PT	(2)	20	28	(3)

（審・細谷・谷萩）

三景 24（12 12 / 12 9）21 トヨタ車体

	〔車体〕	得	〔三景〕	得
GK	宮田	0	中村	0
			石井	0
FP	君島	3	斉藤	0
	赤星	0	高橋	6
	崎野	3	金井	12
	河合	7	清田	1
	寺島	0	小金山	0
	平野	0	木原	0
	寺沢	0	高橋	0
	長野	6	吉野	0
	水田	2	近藤	2
	大原	0	福士	3
PT	(1)	21	24	(3)

（審・岩本・池田）

女子

ジャスコ 24（12 12 / 8 11）19 JUKI

	〔JU〕	得	〔ジャ〕	得
GK	大角	0	小林	0
	久保	0		
FP	石塚	9	今井	1
	許田	5	東出	5
	上田	1	稲田	0
	高塚	1	山田	6
	田中	1	川井	5
	飯田	2	小沼	3
	武藤	0	徳永	2
	羽田	0	西本	2
	山口	0	土師	0
	吉田	0	松村	0
PT	(2)	19	24	(3)

（審・秋山・岩橋）

ブラザー工業 25（10 15 / 4 8）12 ムネカタ

	〔ムネ〕	得	〔ブ工〕	得
GK	我妻	0	岡本	0
	佐々木	0	西住	0
FP	皆川	6	荒木	4
	上遠野	1	末永	1
	桜井	5	小栗	0
	高橋	0	野田	1
	菅野	0	藤江	5
	遠藤	0	松尾	2
	山崎	0	進藤	8
	庄子	0	甲斐	3
	村上	0	高木	1
	吾妻	0	田中	0
PT	(2)	12	25	(3)

（審・平野・川本）

日立栃木 30（16 14 / 17 8）25 ソニー国分

	〔ソニー〕	得	〔日立〕	得
GK			梅津	0
	古賀	0		
FP	藤元	11	吉鶴	1
	平山	3	神永	0
	大城	3	柳田	5
	桑原	0	飯塚	6
	林	4	尾苗	4
	大住	1	市来	5
	東郷	0	新井	5
	井上	0	堤	2
	安山	3	貫田	1
	飯	0	前田	1
PT	(7)	25	30	(3)

（審・菊島・古屋）

女子

ジャスコ 29（16－10、13－12）22 ムネカタ

〔ムネ〕	得
GK 我妻	0
GK 佐々木	0
川名	3
皆川	4
上遠野	2
桜井	7
高橋	3
菅野	2
遠藤	0
山崎	0
庄子	1
吾妻	0
PT (0)	22

得	〔ジャ〕
0	GK 小林
5	今井
4	東出
2	稲田
6	山田
6	川井
1	小沼
0	大塚
1	徳永
0	岩瀬
4	松村
29	PT (5)

日立栃木 25（10－14、15－9）23 ブラザー工業

審・馬場口・岡山

〔ブ工〕	得
GK 岡本	0
GK 西住	0
荒木	8
末永	6
小栗	1
野田	1
藤江	2
松尾	0
進藤	1
甲斐	4
高木	0
田中	0
PT (3)	23

得	〔日立〕
0	GK 梅津
3	吉鶴
4	神永
0	柳田
1	飯塚
6	尾苗
5	市来
5	新井
0	堤
0	貴田
1	前田
25	PT (3)

ソニー国分 21（9－7、12－6）13 JUKI

審・税所・渡辺

〔JU〕	得
GK 大角	0
GK 久保	0
石塚	4
許田	0
上田	2
高塚	1
田中	0
飯田	3
武藤	1
羽田	1
山口	0
吉田	1
PT (1)	13

得	〔ソニー〕
0	GK 古賀
6	藤元
0	平山
1	大城
0	桑原
6	林
1	大住
1	東郷
0	井上
6	安山
0	飯
21	PT (3)

ブラザー工業 27（14－4、13－2）6 JUKI

審・小池・水越

〔JU〕	得
GK 大角	0
GK 久保	0
石塚	1
許田	2
高塚	0
田中	0
飯田	1
武藤	2
羽田	0
平山	0
山口	0
吉田	0
PT (0)	6

得	〔ブ工〕
0	GK 岡本
0	GK 西住
5	荒木
3	末永
1	小栗
4	野田
3	藤江
0	松尾
6	進藤
4	甲斐
1	高木
0	田中
27	PT (5)

日立栃木 28（14－6、14－5）11 ムネカタ

審・早田・焦木

〔ムネ〕	得
GK 我妻	0
GK 佐々木	0
川名	0
皆川	1
上遠野	1
桜井	8
高橋	1
菅野	0
遠藤	0
庄子	0
村上	0
吾妻	0
PT (4)	11

得	〔日立〕
0	GK 梅津
1	吉鶴
4	神永
1	神長
1	柳田
8	飯塚
3	尾苗
1	市来
5	新井
3	堤
1	貴田
28	PT (3)

ジャスコ 26（17－5、9－10）15 ソニー国分

審・佐藤・一万田

〔ソニー〕	得
GK 古賀	0
藤元	6
平山	1
大城	1
林	5
大住	0
東郷	0
井上	0
安山	2
飯	0
PT (2)	15

得	〔ジャ〕
0	GK 小林
6	今井
6	東出
0	稲田
9	山田
2	川井
0	小沼
0	徳永
0	青野
0	西本
3	松村
26	PT (5)

ソニー国分 24（14－7、10－7）14 ムネカタ

〔ムネ〕	得
GK 我妻	0
GK 佐々木	0
川名	1
皆川	2
上遠野	2
桜井	6
高橋	2
菅野	1
遠藤	0
庄子	0
吾妻	0
田代	0
PT (2)	14

得	〔ソニー〕
0	GK 古賀
9	藤元
1	平山
2	乗原
3	林
1	大住
5	東郷
0	井上
2	安山
0	飯
24	PT (5)

ブラザー工業 22（11－9、11－13）22 ジャスコ

審・柳原・田中

〔ジャ〕	得
GK 小林	0
今井	1
東出	3
稲田	2
山田	5
川井	3
小沼	1
徳永	1
青野	0
土師	6
松村	0
PT (4)	22

得	〔ブ工〕
0	GK 岡本
0	GK 西住
5	荒木
7	末永
0	小栗
0	野田
4	藤江
0	松尾
3	進藤
3	甲斐
0	高木
0	田中
22	PT (2)

日立栃木 25（12－3、13－7）10 JUKI

審・阿部・牧田

〔JU〕	得
GK 大角	0
GK 久保	0
石塚	2
許田	3
上田	1
高塚	0
田中	1
飯田	1
武藤	0
田中	0
山口	2
吉田	0
PT (2)	10

得	〔日立〕
0	GK 梅津
3	吉鶴
1	神永
0	神長
4	柳田
4	飯塚
1	尾苗
5	市来
3	堤
0	小柏
4	貴田
25	PT (0)

ブラザー工業 23（12－13、11－8）21 ソニー国分

審・工藤・加藤

〔ソニー〕	得
GK 古賀	0
藤元	7
平山	1
桑原	0
大城	2
林	6
大住	1
東郷	0
井上	0
安山	1
飯	0
PT (2)	21

得	〔ブ工〕
0	GK 岡本
0	GK 西住
7	荒木
3	末永
0	小栗
1	野田
6	藤江
1	松尾
1	進藤
4	甲斐
0	高木
0	田中
23	PT (1)

ムネカタ 24（12－12、12－8）20 JUKI

審・工藤・横山

〔JU〕	得
GK 大角	0
GK 久保	0
許田	9
上田	1
高塚	4
田中	4
飯田	0
武藤	0
羽田	0
田中	0
山口	2
吉田	0
PT (2)	20

得	〔ムネ〕
0	GK 我妻
0	GK 佐々木
2	川名
4	皆川
3	上遠野
10	桜井
3	高橋
2	菅野
0	遠藤
0	庄子
0	村上
0	吾妻
24	PT (3)

日立栃木 23（10－9、13－11）20 ジャスコ

審・雨谷・福田

〔ジャ〕	得
GK 小林	0
今井	1
東出	4
勝島	1
稲田	1
山田	5
川井	6
小沼	0
徳永	0
土師	2
松村	0
PT (2)	20

得	〔日立〕
0	GK 梅津
0	吉鶴
5	神永
2	柳田
6	飯塚
0	尾苗
7	市来
1	新井
3	堤
1	貴田
1	前田
23	PT (3)

各地の記録から・・・

東北

第28回山形県総合選手権

（日程、場所不明）

〈一般男子〉

▼1回戦

真室川ク 21－14 北村山OB

新庄ク 16－15 東根クOB

▼2回戦

東根ク 12－0 真室川ク

山形航空電子 21－9 新庄ク

▼決勝

東根ク 25（11－13、14－7）20 山形航空電子

〈一般女子〉

▼決勝

殖産銀行 33（15－2、18－3）5 山形教員

〈高校男子〉

▼1回戦

新庄工B 16－7 寒河江工

東根工B 23－10 新庄工C

真室川A 16－11 山本学園B

山本学園A 12－11 新庄工A

日大山形 15－12 真室川B

北村山B 31－4 山形東

▼2回戦

北村山A 26－11 新庄工B

東根工B 21－11 真室川A

山本学園A 16－14 日大山形

東根工A 21－12 北村山B

▼準決勝

北村山A 24－9 東根工B

東根工A 21－8 山本学園A

▼決勝

北村山A 13（3－6、10－6）12 東根工A

〈高校女子〉

▼1回戦

日大山形 10－9 山本学園

▼2回戦

北村山 15－6 日大山形

県選抜 14－5 米沢女子

▼決勝

北村山 9（7－2、2－1）3 県選抜

〈中学男子〉

▼1回戦

東根一B 18－14 東根一C

▼決勝

東根一A 16（9－1、7－4）5 東根一B

〈中学女子〉

▼1回戦

東根一2年 16－1 東根一1年

▼決勝

東根一3年 12（5－1、7－7）8 東根一2年

〈小学男子〉

▼1回戦

小田島小 12－1 高崎小

▼2回戦

東根スポ少 6－4 小田島小

長瀞小 9－1 神町ク

▼決勝

長瀞小 6（4－1、2－1）2 東根スポ少

〈小学女子〉

▼1回戦

長瀞小 7－2 東根スポ少

神田ク 6－1 小田島小

▼決勝

神町ク 6（2－1、4－4）5 長瀞小

関東

第13回群馬県中学校新人大会

（11月3～4日／富岡小学校体育館ほか）

〈男子〉

▼1回戦

富岡東 19－12 甘楽二

甘楽三 14－7 矢中

藤岡南 22－10 相生

富岡西 18－5 南八幡

藤岡北 19－8 下仁田東

▼2回戦

富岡南 23－5 富岡東

藤岡南 25－15 甘楽三

下仁田西 24－14 富岡西

富岡 19－11 藤岡北

▼準決勝

藤岡南 14－11 富岡南

富岡 21－11 下仁田西

▼決勝

富岡 16（9－8、7－6）14 藤岡南

〈女子〉

▼1回戦

富岡南 8－5 富岡西

矢中 14－0 塚沢

富岡東 15－5 相生

富岡 8－7 高南

▼準決勝

富岡南 8－7 矢中

富岡東 8－6 富岡

▼決勝

富岡東 7（4－4、3－2）6 富岡南

第40回茨城県総合

（11月3、4日／笠間高校）

〈男子〉

玉藻ク 20－14 鹿島灘高

守谷高 21－10 桐の葉ク

筑波学園ク 21－20 笠間高

茨城大 15－7 中央高

紫峰ク 23－19 霞ヶ浦高

▼2回戦

玉藻ク 16－16 茨苑ク

茎崎ク 19－14 土浦工高

太田一高 23－12 守谷高

茨城コンドルズ 24－16 筑波学園ク

笠間ク 14－13 茨城大

土浦三高 20－11 麻生高

水海道一高 18－15 日本原研

紫峰ク 20－17 常陽銀行

▼準々決勝

玉藻ク 19－16 茎崎ク

茨城コンドルズ 29－16 太田一高

土浦三高ク 16－12 笠間ク

紫峰ク 11－10 水海道一高

▼準決勝

茨城コンドルズ 29－18 玉藻ク

土浦三高ク 22－18 紫峰ク

▼決勝

茨城コンドルズ 23－9 土浦三高ク

〈女子〉

▼1回戦

竜ヶ崎二高OG 19－11 結城二高

太田二高 13－13 高萩高

水海道二高B 17－9 桜芳ク

竜ヶ崎二高 12－9 八郷高

中央高 15－6 笠間高

水海道一高 15－13 鉾田二高

水海道二高A 15－9 麻生高

▼2回戦

茨城大 13－7 竜ヶ崎二高OG

水海道二高B 32－5 太田二高

竜ヶ崎二高 26－9 中央高

水海道二高A 26－13 水海道一高

▼準決勝

水海道二高B 16－13 茨城大

水海道二高A 29－5 竜ヶ崎二高

▼決勝

水海道二高A 10－6 水海道二高B

埼玉県中学校新人大会

（11月11～12日／朝霞市立第五中学校グランド）

〈男子〉

▼1回戦

中野 20－12 川島
上大久保 13－11 富士見西
本郷 18－16 羽生西
大久保 12－11 喜沢
蓮田 24－11 狭山西
朝霞五 13－12 南陵
谷原 11－10 越谷北
吉川南 15－14 榛松

▼2回戦
中野 24－14 上大久保
大久保 25－13 本郷
蓮田 24－5 朝霞五
吉川南 22－11 谷原

▼準決勝
中野 20－13 大久保
蓮田 24－6 吉川南

▼決勝
蓮田 15－7 中野

＜女子＞

▼1回戦
羽生西 4－2 松山
大久保 17－2 新座三
八潮 14－12 三郷栄
八潮三 22－7 春日部
榛松 21－14 戸塚
十二月田 9－3 八潮四

▼2回戦
吉川中央 39－0 羽生西
八潮 15－11 大久保
榛松 15－8 八潮三
中野 9－7 十二月田

▼準決勝
吉川中央 19－2 八潮
榛松 12－4 中野

▼決勝
榛松 12－7 吉川中央

群馬県高校新人大会

（11月23、25日／富岡高校）

▼男子決勝リーグ
吉井 26－7 前橋
富岡 24－17 下仁田
前橋 14－13 富岡
吉井 20－16 下仁田
下仁田 20－18 前橋
吉井 26－13 富岡

（順位）①吉井②富岡③下仁田④前橋

▼女子決勝リーグ
群女短大付 18－9 高崎東
桐生西 13－12 吉井
吉井 19－15 高崎東
群女短大付 28－15 桐生西
桐生西 17－13 高崎東
群女短大付 23－11 吉井

（順位）①群女短大付②桐生西③吉井

東京都高校新人大会

（日程、場所不明）

＜男子＞

■予選リーグ

▼あ組
駒大高 13－6 武蔵丘
富士 25－6 武蔵丘
富士 17－16 駒大高

▼い組
府中 34－9 府中東
府中 25－8 羽村
府中東 20－12 羽村

▼う組
石神井 24－9 江東工
石神井 14－8 豊多摩
豊多摩 12－7 江東工

▼え組
国立 26－9 日野台
創価 17－11 日野台
国立 31－9 創価

▼お組
農大一 17－15 萩窪
農大一 21－11 光丘
萩窪 23－9 光丘

▼か組
青山 14－12 青山学院
青山 15－9 杉並工
青山学院 13－6 杉並工

▼き組
南多摩 21－16 福生
科技学園 10－17 福生
科技学園 18－15 南多摩

▼く組
城西 12－11 桜水商

▼け組
北多摩 13－9 久留米

▼こ組
修徳 39－3 深川
江戸川 24－10 深川
修徳 22－18 江戸川

▼さ組
久留米西 26－17 武蔵

▼し組
杉並 15－13 葛飾野
葛飾野 12－0 広尾
杉並 12－0 広尾

▼す組
八王子東 25－9 秋留台
国分寺 31－1 秋留台
国分寺 17－8 八王子東

▼せ組
南野 16－13 日野
日野 14－14 清瀬
南野 17－16 清瀬

▼そ組
日大二 17－12 城北
城北 21－20 早大学院
日大二 20－14 早大学院

▼た組
墨田川 13－9 雪谷
安田学園 15－8 墨田川
雪谷 12－9 安田学園

▼ち組
小平南 17－9 秋川

▼つ組
開成 23－5 大泉
大泉 20－7 正則
開成 27－2 正則

▼て組
東海大菅生 37－10 山崎
東海大菅生 37－9 小金井工
小金井工 20－19 山崎

▼と組
淵江 14－11 大泉北
専大附 27－12 大泉北
専大附 24－10 淵江

▼な組
錦城 27－22 保谷
錦城 18－13 南平
保谷 27－12 南平

▼に組
小岩 42－3 高島
目黒 17－16 小岩
目黒 34－16 高島

▼ぬ組
小金井北 17－8 武蔵村山東

小金井北 17－7 田無
武蔵村山東 17－12 田無

▼ね組
両国 20－14 学大附
両国 12－0 佼成
学大附 12－0 佼成

▼の組
西 21－14 井草
上野 23－18 井草
西 15－14 上野

▼は組
館 29－5 田無工
府中西 24－10 館
府中西 24－3 田無工

▼ひ組
早実 18－7 駒込
筑波大駒場 22－8 駒込
早実 11－9 筑波大駒場

▼ふ組
富士森 25－11 拝島
富士森 12－0 多摩
拝島 12－0 多摩

▼へ組
東 30－8 足立
巣鴨 22－13 東
巣鴨 25－12 足立

▼ほ組
調布北 25－20 片倉
永山 28－20 片倉
調布北 27－10 永山

▼ま組
蒲田 20－17 白鴎
蒲田 23－10 紅葉川
白鴎 28－13 紅葉川

▼み組
東村山 19－17 桜美林
東大和 30－17 桜美林
東大和 18－17 東大和

▼む組
成城 28－5 世田谷工
成城 50－8 南
世田谷工 25－3 南

▼め組
砂川 16－13 神代
神代 22－6 武蔵村山
砂川 22－10 武蔵村山

▼も組
本所 26－11 大森東
本所 25－16 新宿
新宿 30－11 大森東

▼や組
武蔵野北 11－5 昭和一工
武蔵野北 43－7 忠生
昭和一工 28－6 忠生

▼ゆ組
武工大附 12－0 向丘
向上 14－12 大崎
武工大附 23－18 大崎

▼決勝トーナメント1回戦
府中 18－13 富士
科技学園 14－6 青山
城西 26－3 北多摩
修徳 33－9 久留米西
国分寺 34－7 杉並
小平南 13－6 安田学園
東海大菅生 19－13 開成
錦城 19－17 専大附
西 19－8 府中西
富士森 25－18 早実
調布北 19－14 巣鴨
東大和 23－14 蒲田
本所 38－16 武蔵野北

▼同2回戦
明星 28－14 府中
国立 27－12 石神井
農大一 20－10 科技学園
日体荏原 23－12 城西
三鷹 25－21 修徳
国分寺 19－10 南野
日大二 20－10 小平南
立川 18－10 東海大菅生
東京 33－9 錦城
目黒 27－10 小金井北
両国 21－20 西
中大附 18－15 富士森
調布北 19－14 東大和南
成城 24－15 東大和
本所 24－7 砂川
拓大一 45－2 武工大附

▼同3回戦
明星 24－11 国立
農大一 14－9 日体荏原
国分寺 23－18 三鷹
立川 17－12 日大二
東京 27－5 目黒
両国 18－16 中大附
成城 26－18 調布北
拓大一 30－5 本所

▼同準々決勝
明星 24－18 農大一
国分寺 18－13 立川
東京 33－8 両国
成城 21－19 拓大一

▼同準決勝
明星 35－13 国分寺
東京 26－8 成城

▼同3位決定戦
成城 19－14 国分寺

▼同決勝
東京 21（9－10，9－8，1－2，2－0）明星

〈女子〉

■予選リーグ

▼A組
日大二 12－5 豊多摩
豊多摩 11－7 淵江
日大二 10－7 淵江

▼B組
日野 32－1 羽村
日野 10－5 日野台
日野台 26－1 羽村

▼C組
東海大菅生 9－7 八王子東
東海大菅生 18－2 武蔵村山東
八王子東 18－2 武蔵村山東

▼D組
保谷 12－0 鶴川
国分寺 12－0 鶴川
保谷 14－13 国分寺

▼E組
上野 7－6 大崎
大崎 12－0 立教女子
上野 12－0 立教女子

▼F組
文華女子 28－2 東村山
文華女子 20－12 南平
南平 14－2 東村山

▼G組
広尾 7－6 雪谷
広尾 2－2 一商
一商 8－2 雪谷

▼H組

府中 16－1 国立
富士森 11－5 府中
富士森 8－5 国立
▼I組
八雲 33－1 墨田川
小岩 16－5 墨田川
八雲 26－1 小岩
▼J組
武蔵野北 5－3 調布北
砂川 17－1 調布北
砂川 19－0 武蔵野北
▼K組
府中東 13－0 府中西
小平 16－1 府中西
小平 9－7 府中東
▼L組
学大附 11－2 東
東 12－0 三商
学大附 12－0 三商
▼M組
五商 20－1 農業
武蔵野女子 26－0 農業
武蔵野女子 14－6 五商
▼N組
桐朋 12－0 館
桐朋 9－3 神代
神代 12－0 館
▼O組
清瀬 5－2 福生
清瀬 9－9 共立二
福生 11－10 共立二
▼P組
井草 8－5 白鴎
井草 21－4 目黒
白鴎 11－7 目黒
▼Q組

東大和南 14－3 明星学園
東大和 18－3 明星学園
東大和 11－7 東大和南
▼R組
本所 15－5 光丘
本所 16－5 農大一
農大一 10－6 光丘
▼S組
久留米西 11－5 田無
▼T組
富士 12－0 西
江戸川 12－0 西
富士 22－4 江戸川
▼U組
南野 9－4 小金井北
武蔵 11－9 南野
武蔵 10－3 小金井北
▼決勝トーナメント1回戦
日野 15－3 日大二
東海大菅生 12－8 保谷
日体桜華 11－1 上野
文大杉並 25－3 文華女子
富士森 18－0 一商
八雲 20－8 砂川
石神井 17－11 小平
学大附 10－9 武蔵野女子
清瀬 12－8 桐朋
菊華 31－5 井草
東大和 9－7 青山学院
久留米西 14－8 本所
富士 16－5 武蔵
▼同2回戦
江東商 13－8 日野
日体桜華 16－4 東海大菅生
文大杉並 27－8 富士森
八雲 18－11 石神井

佼成女子 24－6 学大附
菊華 28－4 清瀬
久留米西 17－6 東大和
藤村女子 21－8 富士
▼同3回戦
江東商 17－7 日体桜華
文大杉並 26－12 八雲
佼成女子 24－12 菊華
藤村女子 20－6 久留米西
▼同準決勝
江東商 17－14 文大杉並
藤村女子 12－9 佼成女子
▼3位決定戦
佼成女子 14－9 文大杉並
▼同決勝
江東商 20（8－3、4－6）9 藤村女子

東海

第41回三重県総合選手権

（9月2、9、16日／四日市四郷高グランドほか）

＜男子＞
▼1回戦
海星高B 17－10 津高
むつみヶ丘クA 17－8 高田高A
九華ク 13－8 津東高A
西笹川ク 19－15 四日市高
鵜ノ森クB 20－16 桑名西ク
鵜ノ森クA 17－8 四郷高
本田技研爽風会 31－6 桑名西高A
三重大 20－15 鵜ノ森クC
淀川ク 12－0 名張西高B
鵜ノ森クD 24－17 鈴鹿工専

桑名北高A 16－8 津高C
四日市南高 17－10 四中工ク
桑名高 24－16 尾鷲ク
名張西高OB 15－11 尾鷲高
四日市工高 26－11 四郷ク
津工 19－10 高田高B
三菱油化 24－11 津東高B
四日市西高 19－8 津高A
津西高 17－16 むつみヶ丘クB
三重教員 33－5 名張西高
川越高 13－8 上野工業
桑名北高B 21－12 鳥羽商船OB
四工ク 15－13 海星高A
▼2回戦
本田ク 31－20 海星高B
むつみヶ丘クA 10－7 桑名工業
本田技研爽風会 32－6 桑名工業OB
鵜ノ森クA 25－8 鳥羽商船
亀山高 13－5 九華ク
西笹川ク 20－13 四日市中央工
鵜ノ森クB 20－7 四日市南高OB
桑名西高B 15－13 三重大
四日市工高 33－13 淀川ク
鵜ノ森クD 19－12 桑名北高A
四日市南高 19－6 桑名高
四日市工B 12－0 名張西高OB
三菱油化 12－11 津工業
四日市西高 24－14 津西高
三重教員 15－14 川越高
四工ク 21－8 桑名北高
▼3回戦
本田ク 28－16 むつみヶ丘クA
本田技研爽風会 28－10 鵜ノ森クA
四日市工高A 24－20 三重教員
▼準決勝
本田ク 29－20 西笹川ク

本田技研爽風会 27－22 四日市工高A

▼決勝

本田技研爽風会 29 (14－12、15－8) 20 本田ク

＜女子＞

▼1回戦

鵜ノ森クD 19－13 亀山高
西笹川ク 23－14 四日市南高
鵜ノ森クB 18－15 四日市工業B
鵜ノ森クA 23－10 三菱油化
本田技研爽風会 23－8 四日市西高
三重教員 23－9 桑名西高B
四日市工高A 32－15 四工ク

▼準々決勝

本田ク 27－19 鵜ノ森クD
西笹川ク 16－12 鵜ノ森クB
四日市南高OG 13－12 四日市高
桑名西高 21－9 尾鷲高
暁高 12－0 Kクラブ
上野高OG 12－0 尾鷲ク
上野高 8－4 むつみヶ丘ク
靏潤苑 10－8 三重大
四日市南高 26－7 暁高OGB
津高 7－4 四日市四郷高
四日市西高 14－13 西笹川ク
暁高OGA 14－10 松阪女子高
川越高 10－6 桑名高

▼2回戦

ジャスコA 39－5 四日市南OG
むつみヶ丘ク 10－7 桑名西高
上野高 8－6 名張西高
津東高 16－9 靏潤苑
ジャスコB 24－2 川越高
四日市南高 18－7 津高
暁高OGA 14－11 四日市西高

▼準々決勝

ジャスコA 33－1 むつみヶ丘ク
暁高 23－3 上野高
四日市南高 11－10 津東高
ジャスコB 27－11 暁高OGA

▼準決勝

ジャスコB 12－0 暁高
ジャスコA 40－7 四日市南高

▼決勝

ジャスコA 41 (26－5、15－7) 12 ジャスコB

第44回静岡県民スポーツ祭

(日程、場所不明)

＜高校男子＞

▼1回戦

静岡東 18－10 修善寺工
森 14－5 富士B
気賀 18－3 長泉
御殿場 22－11 天竜林業
富士A 22－13 浜松城北工
浜松湖東 13－12 御殿場南
二俣 15－12 清水市商B
沼津東 19－8 静清工

▼2回戦

清水市商A 9－6 静岡東
森 11－16 静岡工
小山 17－12 気賀
静岡西 25－16 御殿場
静岡農 20－12 富士A
静岡南 18－9 浜松湖東
二俣 16－13 伊豆中央
清水東 17－14 沼津東

▼3回戦

清水市商A 23－4 森
小山 13－5 静岡西
静岡農 22－12 静岡南
清水東 17－14 二俣

▼準決勝

清水市商 17－8 小山
静岡農 13－8 清水東

▼決勝

静岡農 19－17 清水市商A

＜一般男子＞

▼1回戦

御殿場ク 28－8 森ク
気賀ク 13－8 沼津高専ク
静清工ク 12－0 浜南ク
気賀クB 17－14 国際海洋ク
清南オールドク 20－11 二俣ク

▼2回戦

清商ク 26－8 御殿場ク
気賀クA 14－11 静清工ク
教員A 22－8 気賀クB
静農ク 16－11 清南オールドク

▼準決勝

清商ク 12－0 気賀クA
教員A 17－13 静農ク

▼決勝

清商ク 27－14 教員A

＜シニア＞

橘ク 24－15 教員B

＜中学男子＞

▼1回戦

雄踏中 13－12 富士吉原北中
岳陽中 19－7 静岡東中

▼決勝

岳陽中 19－12 雄踏中

＜小学生男子＞

愛鷹小 13－3 沼津第二小

＜高校女子＞

▼1回戦

二俣 16－4 加藤学園
清水東 14－11 土肥
静岡農 18－8 富士東

▼2回戦

静岡城北 15－5 二俣
藤枝西 15－2 御殿場
清水西 13－6 富士見
吉原 11－9 清水市商B
沼津西 18－7 清水東
気賀 16－11 富士宮東
小山 18－9 清水女
清水市商A 21－8 静岡農

▼3回戦

静岡城北 17－5 藤枝西
吉原 14－13 清水西
沼津西 9－7 気賀
清水市商A 23－5 小山

▼準決勝

静岡城北 11－9 吉原
清水市商A 16－8 沼津西

▼決勝

静岡城北 15－10 清水市商A

＜一般女子＞

▼1回戦

清商ヤング 26－8 静農ク
ポストク 38－4 気賀OGク
清水西ク 23－5 清商ク

▼準決勝

清商ヤング 26－11 静岡城北ク
ポストク 13－8 清水西ク

▼決勝

清商ヤング 15－5 ポストク

＜中学女子＞

清水第五中 15－9 静岡東中

第5回静岡県高校選手権

(日程、場[illegible]

＜男子＞
▼1回戦
富士 26－13 国際海洋
二俣 22－15 御殿場
小山 11－6 静清工
伊豆中央 13－12 静岡東
清水市商 25－0 沼津工
沼津東 16－4 浜松城北工
浜松南 19－8 長泉
静岡西 15－7 修善寺工
静岡工 13－11 御殿場南
オイスカ 12－0 土肥
静岡農 17－13 浜松湖東
▼2回戦
清水東 16－7 富士
小山 14－12 二俣
伊豆中央 26－4 天竜林業
清水市商 24－5 気賀
静岡南 14－13 沼津東
静岡西 13－10 浜松南
静岡工 15－7 オイスカ
星陵 13－11 静岡農
▼3回戦
清水東 24－11 小山
清水市商 17－9 伊豆中央
静岡西 9－8 静岡南
星陵 13－5 静岡工
▼準決勝
清水市商 14－13 清水東
星陵 29－10 静岡西
▼3位決定戦
清水東 26－12 静岡西
▼決勝
清水市商 14－10 星陵
＜女子＞
▼1回戦
土肥 18－8 浜松南
清水西 32－1 吉原商
清水東 6－5 富士見
二俣 9－8 小山
▼2回戦
静岡城北 30－5 土肥
清水女 11－8 富士宮東
沼津西 16－12 静岡農
清水西 14－9 富士東
吉原 17－11 清水東
気賀 22－4 御殿場
藤枝西 15－4 加藤学園
清水市商 26－10 二俣
▼3回戦
静岡城北 28－1 清水女
沼津西 13－8 清水西
吉原 11－8 気賀
清水市商 15－8 藤枝西
▼準決勝
静岡城北 24－6 沼津西
清水市商 31－9 吉原
▼3位決定戦
沼津西 18－13 吉原
▼決勝
静岡城北 22－21 清水市商

北信越

長野県高校新人大会

（11月2、3日／更埴市体育館ほか）

＜男子＞
▼1回戦
野沢北 28－9 上田千曲
▼2回戦
屋代 60－2 北佐久農
野沢北 22－15 諏訪清陵
小諸 42－10 長野東
田川 30－7 臼田
上田 33－6 長野南
美須々 31－12 富士見
松川 21－16 松本第一
坂城 28－18 野沢南
▼3回戦
屋代 34－11 野沢北
田川 20－15 小諸
上田 30－14 美須々
坂城 32－11 松川
▼準決勝
屋代 19－12 田川
上田 29－15 坂城
▼決勝
屋代 26（14－8、12－9）17 上田
＜女子＞
▼1回戦
美須々 15－2 更級農
臼田 29－3 上田千曲
小諸商 19－6 蟻ヶ崎
▼2回戦
佐久 30－6 美須々
塩尻 26－6 北佐久農
田川 22－10 臼田
屋代 21－18 小諸商
▼準決勝
佐久 25－11 塩尻
屋代 22－6 田川
▼決勝
屋代 15（8－7、7－4）11 佐久

近畿

第42回大阪府高校新人大会

（10月28日～11月25日／桃山学院高校ほか）

■南ブロック
＜男子＞
▼1回戦
堺東 26－12 和泉
長野 21－18 堺西
府堺工 棄権 和泉工
▼2回戦
初芝 36－10 堺東
大体大浪商 24－19 泉陽
高石 20－14 富田林
岸和田 30－9 長野
泉北 32－8 登美丘
貝塚南 13－12 久米田
鳳 19－19 商大堺
三国丘 17－11 府堺工
▼3回戦
初芝 31－7 大体大浪商
岸和田 17－13 高石
泉北 22－9 貝塚南
三国丘 17－11 府堺工
▼準決勝
初芝 32－10 岸和田
三国丘 20－17 泉北
▼3位決定戦
泉北 28－13 岸和田
▼決勝
初芝 22（10－4、12－2）6 三国丘
＜女子＞

▼1回戦
住吉商 29−3 岸和田
佐野 21−11 久米田
三国丘 11−5 和泉
高石 14−10 東百舌鳥

▼2回戦
住吉商 20−9 住吉学園
佐野 15−7 富田林
三国丘 11−8 堺東
初芝 25−3 高石

▼準決勝
住吉商 14−14 佐野
初芝 25−6 三国丘

▼3位決定戦
初芝 36−12 住吉商

▼決勝
初芝 36 (21−4, 15−8) 12 住吉商

■北ブロック

＜男子＞

▼1回戦
箕面 21−9 柴島
豊中 12−0 池田
大阪学院 32−7 東淀工
北野 43−17 山田
東豊中 12−11 東淀川
千里 23−10 豊島
北千里 20−6 吹田東
西野田工 15−14 市岡

▼2回戦
北陽 23−11 箕面
豊中 42−6 扇町
大阪学院 19−12 池田北
大商学園 22−16 北野
桜宮 23−5 東豊中
桜塚 24−23 千里
刀根山 11−9 北千里
都島工 32−5 西野田工

▼3回戦
北陽 15−8 豊中
大商学園 20−7 大阪学院
桜宮 22−8 桜塚
都島工 23−6 刀根山

▼準決勝
北陽 18−15 大商学園
都島工 18−2 桜宮

▼3位決定戦
桜宮 12−8 大商学園

▼決勝
都島工 15−7 北陽

＜女子＞

▼1回戦
千里 27−4 池田
東豊中 27−6 薫英
金蘭会 20−4 豊中

▼2回戦
宣真 43−7 千里
北野 24−2 桜塚
桜宮 21−7 東淀川
刀根山 16−7 東豊中
豊島 20−10 箕面
池田北 18−16 成蹊
梅花 10−4 市岡
福島女子 25−12 金蘭会

▼3回戦
宣真 32−5 北野
桜宮 10−8 刀根山
豊島 17−14 池田北
福島女子 22−6 梅花

▼準決勝
宣真 30−8 桜宮
福島女子 28−15 豊島

▼3位決定戦
桜宮 11−10 豊島

▼決勝
宣真 24 (13−4, 11−3) 7 福島女子

■東ブロック

＜男子＞

▼1回戦
茨木 20−10 城東工
交野 13−13 南寝屋川 (1 PTC 0)
島本 31−13 牧野
磯島 26−6 大東
芥川 23−4 高槻北
摂津 24−11 島上大冠
加納 15−13 四条畷
枚方 24−12 守口北
長尾 21−7 関西大倉
門真南 22−19 寝屋川
島上 18−8 淀川工業
三島 24−11 門真
茨木東 13−13 同志社香里 (2 PTC 1)

▼2回戦
摂陵 23−12 茨木
交野 17−16 島本
磯島 21−17 芥川
摂津 25−13 加納
春日丘 30−9 枚方
門真南 21−21 長尾 (3 PTC 2)
島上 21−15 三島
西寝屋川 34−16 茨木東

▼3回戦
摂陵 32−3 交野
摂津 18−18 磯島 (4 PTC 3)
春日丘 30−14 門真南
島上 19−13 西寝屋川

▼準決勝
摂津 19−15 摂陵
春日丘 19−15 島上

▼3位決定戦
島上 21−20 摂陵

▼決勝
春日丘 17 (8−10, 9−4) 14 摂津

＜女子＞

▼1回戦
寝屋川 19−8 島上

▼2回戦
寝屋川 12−10 西寝屋川
長尾 24−4 南寝屋川
門真 16−2 茨木
門真南 12−3 大阪市立
摂津 24−4 大東
高槻北 8−4 芥川
枚方 20−6 守口北
春日丘 22−5 香里丘

▼3回戦
寝屋川 27−2 長尾
門真南 13−3 門真
摂津 28−6 高槻北
春日丘 23−2 枚方

▼準決勝
寝屋川 9−7 門真南
春日丘 19−10 摂津

▼3位決定戦
門真南 13−7 摂津

▼決勝

春日丘 23（12－5、11－3）8 寝屋川

■中ブロック

〈男子〉

▼1回戦

東住吉 31－8 住吉
池島 13－11 山本
清風 16－12 天王寺
羽曳野 18－15 大和川
八尾東 22－11 花園
東住吉工 30－5 柏原東
港南 20－9 阿部野
藤井寺 34－1 藤井寺工
八尾 26－7 生野
高津 21－9 柏原

▼2回戦

桃山学院 28－13 東住吉
池島 23－5 大教平野
清風 24－7 羽曳野
阪南 12－5 八尾東
上宮 33－4 東住吉工
藤井寺 19－8 港南
八尾 24－8 勝山
此花学院 33－5 高津

▼3回戦

桃山学院 36－3 池島
清風 22－12 阪南
上宮 34－10 藤井寺
此花学院 32－7 八尾

▼準決勝

桃山学院 22－9 清風
上宮 21－13 此花学院

▼3位決定戦

清風 16－15 此花学院

▼決勝

桃山学院 20（6－7、14－5）1[illegible] 上宮

〈女子〉

▼1回戦

関西女短 15－3 山本
港南 27－9 藤井寺

▼2回戦

四天王寺 46－6 関西女短
城南 11－7 八尾東
大谷 26－2 八尾
天王寺 29－10 大和川
信愛女子 19－8 生野
住吉 14－4 池島
高津 13－5 東大阪
阪南 30－8 港南

▼3回戦

四天王寺 36－1 城南
大谷 8－7 天王寺
信愛女子 14－7 住吉
阪南 18－4 高津

▼準決勝

大谷 14－13 四天王寺
阪南 25－5 信愛女子

▼3位決定戦

四天王寺 27－4 信愛女子

▼決勝

大谷 15（7－8、8－1）9 阪南

■中央大会

〈男子〉

▼1回戦

此花学院 14－11 都島工
三国丘 24－16 島上
初芝 12－7 大商学園
清風 23－9 摂津
春日丘 28－9 岸和田
上宮 16－12 桜宮
桃山学院 25－15 摂陵
北陽 23－17 泉北

▼2回戦

此花学院 17－13 三国丘
初芝 25－13 清風
上宮 27－16 春日丘
桃山学院 17－11 北陽

▼準決勝

初芝 16－15 此花学院
桃山学院 13－10 上宮

▼決勝

桃山学院 21（10－6、11－9）15 初芝

〈女子〉

▼1回戦

宣真 35－1 三国丘
阪南 10－6 門真南
初芝 29－15 豊島
四天王寺 22－10 寝屋川
春日丘 22－3 信愛女子
福島女子 23－7 佐野
大谷 18－12 摂津
桜宮 14－3 住吉商

▼2回戦

宣真 33－3 阪南
四天王寺 22－12 初芝
春日丘 12－5 福島女子
大谷 16－13 桜宮

▼準決勝

宣真 23－17 四天王寺
大谷 16－8 春日丘

▼決勝

宣真 21（9－7、12－8）15 大谷

和歌山県秋季選手権

（11月3、11日／県立那賀高校グランドほか）

〈一般男子〉

▼1回戦

紀北農芸高 26－9 桐陰高
和歌山大 24－15 白馬ク
新宮商高B 22－1 海南高
耐久高 29－6 新宮高
新宮商高A 19－8 近大附和歌山高
住友金属 16－9 粉河高
御坊商工高 20－7 和歌山東高
市和商高 12－6 笠田高
県和商高 25－8 箕島高

▼2回戦

那賀クA 39－16 紀北農芸高
和歌山大 20－10 新宮商高B
県和商ク 21－20 耐久高
新宮商高A 19－9 貴志川高
市和商ク 19－17 住友金属
那賀クB 35－13 御坊商工高
御坊ク 29－10 市和商高
那賀高 33－11 県和商高

▼3回戦

那賀クA 26－25 和歌山大
県和商ク 16－15 新宮商高A
那賀クB 33－25 市和商ク
那賀高 12－0 御坊ク

▼準決勝

那賀クA 22－21 県和商ク
那賀クB 19－16 那賀高

▼決勝

那賀クA 21（15－7、6－12）19 那賀クB

〈一般女子〉

▼1回戦

御坊商工高 25－4 笠田高

▼2回戦

那賀高 17－2 御坊商工高
貴志川高 28－3 箕島高
那賀ク 27－3 海南高
県和商高 16－3 粉河高

▼準決勝

貴志川高 15－14 那賀高
那賀ク 17－5 県和商高

▼決勝

那賀ク 18（8－3、10－7）10 貴志川高

〈中学校男子〉

▼1回戦

近大附和歌山 16－6 那賀
岩出第二 19－5 打田
湯浅 21－13 有功

▼2回戦

白馬 15－14 近大附和歌山
岩出 23－15 金屋
岩出第二 19－10 紀伊
貴志川 24－13 湯浅

▼準決勝

白馬 13－7 岩出
貴志川 18－10 岩出第二

▼決勝

貴志川 25（11－7、14－9）16 白馬

〈中学校女子〉

▼1回戦

貴志川 17－3 那賀
桃山 16－10 打田
岩出 11－7 粉河

▼準決勝

岩出第二 10－4 貴志川

岩出 22—14 桃山

▼決勝

岩出第二 14（8—1, 6—4）5 岩出

第34回京都府高校新人大会

（11月3〜25日／伏見港公園体育館ほか）

＜男子＞

▼予選リーグAブロック

伏見工 17—7 南八幡
伏見工 15—10 洛西
伏見工 19—5 成章
伏見工 20—7 西宇治
洛西 9—5 南八幡
洛西 13—0 成章
洛西 15—10 西宇治
南八幡 15—7 成章
南八幡 10—9 西宇治
西宇治 17—3 成章

▼同Bブロック

城南 16—6 堀川
城南 19—2 山城
城南 9—7 久御山
城南 13—5 田辺
久御山 17—7 堀川
久御山 15—4 山城
久御山 14—5 田辺
山城 14—7 堀川
山城 12—8 田辺
田辺 14—9 堀川

▼同Cブロック

京都西 15—4 同志社
京都西 18—5 木津
京都西 18—5 洛東
京都西 15—10 洛西
洛西 21—9 同志社
洛西 16—8 木津
洛西 16—11 洛東
木津 16—3 同志社
木津 21—3 洛東
同志社 11—9 洛東

▼同Dブロック

大谷 53—2 宇治
大谷 24—6 日吉丘
大谷 14—9 平安
大谷 20—9 向陽
平安 43—2 宇治
平安 12—11 日吉丘
平安 16—15 向陽
向陽 40—1 宇治
向陽 14—13 日吉丘
日吉丘 50—4 宇治

▼同Eブロック

東山 26—5 北稜
東山 23—13 洛水
東山 21—4 京都学園
東山 21—4 乙訓
洛水 18—5 北稜
洛水 19—6 京都学園
洛水 15—9 乙訓
乙訓 12—7 北稜
乙訓 16—11 京都学園
京都学園 6—2 北稜

▼同Fブロック

嵯峨野 24—10 西乙訓
嵯峨野 14—8 北嵯峨
嵯峨野 18—11 桃山
嵯峨野 19—6 城陽
桃山 18—10 西乙訓
桃山 10—9 北嵯峨
桃山 22—8 城陽
北嵯峨 18—6 西乙訓
北嵯峨 20—5 城陽
城陽 15—14 西乙訓

▼同Gブロック

桂 22—0 東稜
桂 14—9 洛北
桂 22—3 八幡
洛北 13—5 東稜
洛北 25—2 八幡
東稜 10—9 八幡

▼同Hブロック

東宇治 40—4 洛陽工
東宇治 29—11 両洋
東宇治 29—4 鴨沂
両洋 28—6 洛陽工
両洋 15—5 鴨沂
鴨沂 14—5 洛陽工

▼決勝トーナメント1回戦

京都西 20—13 洛西
大谷 20—11 洛水
洛北 16—11 城南
嵯峨野 28—13 両洋
桂 28—21 桃山
東宇治 20—10 久御山
東山 27—5 平安
洛星 20—17 伏見工

▼同2回戦

大谷 23—12 京都西
洛北 17—15 嵯峨野
桂 13—10 東宇治
東山 21—9 洛星

▼準決勝

洛北 19—14 大谷
東山 22—13 桂

▼3位決定戦

桂 23—10 大谷

▼決勝

東山 23（12—7, 11—6）13 洛北

＜女子＞

▼予選リーグアブロック

洛北 19—5 洛水
洛北 38—0 西乙訓
洛北 30—2 田辺
洛北 28—3 北稜
洛水 17—7 西乙訓
洛水 27—6 田辺
洛水 19—4 北稜
西乙訓 13—4 田辺
西乙訓 9—9 北稜
北稜 15—6 田辺

▼同イブロック

北嵯峨 11—8 山城
北嵯峨 13—6 南八幡
北嵯峨 10—5 明徳商
北嵯峨 21—5 精華
山城 8—6 南八幡
山城 14—13 明徳商
山城 14—7 精華
南八幡 10—8 明徳商
南八幡 20—7 精華
明徳商 16—4 精華

▼同ウブロック

京都女 10—7 西宇治
京都女 10—10 東宇治
京都女 16—3 光華
京都女 23—10 日吉丘
東宇治 8—6 西宇治
東宇治 17—6 光華
東宇治 22—8 日吉丘
西宇治 22—9 光華
西宇治 18—6 日吉丘
光華 17—13 日吉丘

▼同エブロック

桃山 17—3 城陽
桃山 18—6 西山
桃山 11—2 久御山
桃山 25—4 洛東
城陽 10—5 西山
城陽 14—10 久御山
城陽 16—6 洛東
久御山 7—5 西山
久御山 12—2 洛東
西山 16—2 洛東

▼同オブロック

桂 19—1 鴨沂
桂 7—3 東稜
桂 6—3 洛西
桂 20—1 乙訓
乙訓 5—4 鴨沂
乙訓 4—4 東稜
乙訓 9—8 洛西
東稜 11—5 鴨沂
東稜 7—7 洛西
洛西 12—3 鴨沂

▼同カブロック

向陽 15—8 塔南
向陽 15—0 府立商
向陽 16—5 城南
城南 16—8 塔南
城南 11—4 府立商
塔南 11—3 府立商

▼決勝トーナメント1回戦

向陽 26—8 城陽
東宇治 16—11 洛水
京都女 22—9 乙訓
城南 10—7 山城

▼同2回戦

向陽 21－15 北嵯峨
東宇治 14－3 桂
京都女 26－14 桃山
洛北 28－2 城南

▼準決勝
向陽 19－10 東宇治
洛北 30－8 京都女

▼3位決定戦
東宇治 22－10 京都女

▼決勝
洛北 19（8－8、11－5）13 向陽

中国

山口県高校新人大会
（11月4、5日／徳山市体育館）

〈男子〉

▼1回戦
広瀬 12－10 聖光
防府西 17－8 徳山工
南陽工 25－20 防府工
華陵 19－18 宇部工
下関工 27－12 野田学園
岩国 21－16 小野田工
下松 15－13 下関西
山口 21－20 下関中工
下関第一 17－12 西京
岩国工 40－3 早鞆

▼2回戦
下松工 39－2 広瀬
南陽工 26－24 防府西
華陵 25－20 田部
徳山 28－11 下関工
岩国 16－12 高水
下松 21－18 徳山商
下関中工 25－9 下関第一
岩国工 19－15 岩陽

▼3回戦
下松工 37－4 南陽工
徳山 36－12 華陵
岩国 17－14 下松
岩国工 18－10 下関中工

▼準決勝
下松工 22－11 徳山
岩国工 16－11 岩国

▼決勝
下松工 17（9－6、8－8）14 岩国工

〈女子〉

▼1回戦
長府 15－9 防府商
岩国 31－5 新南陽
徳山 26－2 山口中央
徳山商 25－8 西京
高水 38－6 響
熊毛北 30－13 岩陽
岩国商 28－1 防府西

▼2回戦
華陵 24－5 長府
徳山 15－5 岩国
徳山商 20－16 高水
岩国商 30－15 熊毛北

▼準決勝
華陵 15－10 徳山
徳山商 16－15 岩国商

▼決勝
華陵 18（11－7、7－7）14 徳山商

第10回世界女子選手権大会（Aグループ）

ソ連が3連覇を達成

第10回世界女子選手権大会は、昨年11月24日から、12月4日まで、韓国で16か国が参加して開催されソ連が決勝戦でユーゴを下し、見事3連覇を達成した。ソウル・オリンピックで金メダルを獲得した地元の韓国は、不振で11位という結果に終った。

▼予選リーグA組

ユーゴ 19（10 9／9 9）18 ポーランド
西ドイツ 17（11 6／7 5）12 フランス
ユーゴ 23（12 11／11 7）18 フランス
西ドイツ 21（13 8／11 7）18 ポーランド
ユーゴ 21（11 10／9 11）20 西ドイツ
ポーランド 29（12 17／9 10）19 フランス

〔順位〕①ユーゴ②西ドイツ③ポーランド④フランス

▼予選リーグB組

オーストリア 19（10 9／9 9）18 韓国
中国 17（8 9／8 7）15 スウェーデン
中国 28（15 13／8 14）22 韓国
オーストリア 21（9 12／11 10）21 スウェーデン
韓国 34（19 15／14 11）25 スウェーデン
中国 22（8 14／9 12）21 オーストリア

〔順位〕①中国②オーストリア③韓国④スウェーデン

▼予選リーグC組

ソ連 21（9 12／8 9）17 デンマーク
東ドイツ 28（14 14／7 9）16 アンゴラ
ソ連 28（15 13／9 6）15 アンゴラ
東ドイツ 23（11 12／11 8）19 デンマーク
ソ連 21（9 12／11 9）20 東ドイツ
デンマーク 22（15 7／5 2）7 アンゴラ

〔順位〕①ソ連②東ドイツ③デンマーク④アンゴラ

▼予選リーグD組

ノルウェー 22（13 9／8 10）18 ブルガリア
ルーマニア 34（16 18／12 7）19 カナダ
ノルウェー 27（12 15／11 11）22 カナダ
ルーマニア 18（7 11／7 10）17 ブルガリア
ノルウェー 13（6 7／4 8）12 ルーマニア
ブルガリア 33（19 14／12 8）20 カナダ

〔順位〕①ノルウェー②ルーマニア③ブルガリア④カナダ

▼準決勝リーグI組

ポーランド 31（19 12／7 10）17 中国
オーストリア 24（11 13／12 8）20 西ドイツ
ユーゴ 28（16 12／9 15）24 韓国
ユーゴ 30（16 14／9 6）15 オーストリア
西ドイツ 19（9 10／7 7）14 中国
ポーランド 29（12 17／11 13）24 韓国
オーストリア 22（9 13／12 9）21 ポーランド
中国 27（10 17／16 10）26 ユーゴ
西ドイツ 31（20 11／8 15）23 韓国

※ユーゴ—西ドイツ、ユーゴ—ポーランド、西ドイツ—ポーランド、中国—オーストリア、中国—韓国、オーストリア—韓国の結果は予選リーグを適用。

〔順位〕①ユーゴ②西ドイツ③オーストリア④中国⑤ポーランド⑥韓国

▼準決勝リーグII組

ソ連 33（15 18／13 10）23 ブルガリア
東ドイツ 15（9 6／7 8）15 ルーマニア
ノルウェー 20（9 11／8 8）16 デンマーク
ブルガリア 20（9 11／8 8）16 デンマーク
東ドイツ 22（12 10／8 6）14 ノルウェー
ソ連 29（11 18／14 12）26 ルーマニア
東ドイツ 31（13 18／14 7）21 ブルガリア
デンマーク 26（13 13／9 10）19 ルーマニア
ソ連 22（11 11／10 10）20 ノルウェー

※ソ連—東ドイツ、ソ連—デンマーク、東ドイツ—デンマーク、ノルウェー—ルーマニア、ノルウェー—ブルガリア、ルーマニア—ブルガリアは予選リーグを適用。

▼13～16位決定リーグ

フランス 24（11 13／7 13）20 アンゴラ
スウェーデン 21（11 10／8 8）16 カナダ
フランス 24（14 10／12 9）21 カナダ
スウェーデン 28（15 13／7 7）14 アンゴラ
スウェーデン 27（13 14／8 9）17 フランス
カナダ 25（9 16／13 8）21 アンゴラ

▼11・12位決定戦

韓国 36（16 20／14 9）23 ブルガリア

▼9・10位決定戦

ポーランド 27（12 15／19 7）26 デンマーク

▼7・8位決定戦

ルーマニア 25（12 13／9 10）19 中国

▼5・6位決定戦

オーストリア 23（7 16／10 9）19 ノルウェー

▼3・4位決定戦

東ドイツ 25（13 12／12 7）19 西ドイツ

▼決勝

ソ連 24（10 14／13 9）22 ユーゴ

〔最終順位〕①ソ連②ユーゴ③東ドイツ④西ドイツ⑤オーストリア⑥ノルウェー⑦ルーマニア⑧中国⑨ポーランド⑩デンマーク⑪韓国⑫ブルガリア⑬スウェーデン⑭フランス⑮カナダ⑯アンゴラ

’91広島

アジアハンドボール選手権大会を成功させよう!!

―第6回男子・第3回女子アジアハンドボール選手権大会
兼バルセロナオリンピックアジア地区予選―

〔日程〕　一九九一年八月二十二日(木)～九月一日(日)

〔大会会場〕　広島サンプラザ・広島市東区スポーツセンター

(財)日本ハンドボール協会
広島県ハンドボール協会

(財)日本ハンドボール協会編
『ハンドボール』
第三〇六号
昭和四十年六月七日 平成三年二月二十六日 印刷
第三種郵便物認可 平成三年三月一日 発行
東京都渋谷区神南一—一—一
電話 代表 三四八一—二三六一
振替 東京 六—五八三四八番
編集兼発行人 安藤純光
定価三百五十円
(年間購読料三千三百円)